

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	細胞内タンパク質間相互作用を標的とする中分子創薬技術の開発
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	森本 淳平
全研究開発期間	令和元年度～令和3年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101263.pdf>

2. 総合評価

・ 良い

【評価コメント】

膜透過性が高いペプチドを足場として PPI 阻害剤をインシリコで設計し、当初の標的である MDM2-p53 に対して in vitro で阻害活性を示すペプチドが示され、細胞内 PPI 阻害剤の創出においてペプチドの可能性を示す成果が得られている。

一方、in vivo では顕著な効果が得られなかった点や他の標的への応用でも解決すべき点が見られるなど、インシリコ設計を含む中分子創薬技術として課題が残されており、生体内での安定性評価の追加など、さらなる改良を加え、実用性のある創薬基盤技術として構築されることを希望する。

以上